

2021年12月28日

報道関係者各位

ご案内

不妊・不育当事者の現状を社会に届けるために活動中
「第73回保健文化賞」受賞！
贈呈式で受賞者代表スピーチ、天皇皇后両陛下に拝謁

不妊治療患者をはじめ不妊・不育で悩む人をサポートするセルフサポートグループ「NPO 法人 Fine（ファイン、以下「当法人）」は、第73回保健文化賞（主催：第一生命保険株式会社、後援：厚生労働省、朝日新聞厚生文化事業団、NHK 厚生文化事業団）を受賞し、2021年12月20日（月）に明治記念館にて贈呈式が開催されました。贈呈式では、第73回保健文化賞受賞者(*1)を代表し、当法人代表・松本亜樹子が挨拶をさせていただきました。また、翌21日（火）には、第72回と第73回保健文化賞受賞者一同で皇居に参内し、天皇皇后両陛下に拝謁の機会を賜りました。

「保健文化賞」とは

戦後の衛生環境が悪化していた中、日本の保健衛生の向上に取り組む団体・個人に感謝と敬意を捧げる賞として1950年に創設された賞で、第一生命保険株式会社の社会貢献活動のひとつ。生活習慣病対策・高齢者や障がい者への福祉・海外での医療や疾病対策など、その時代におけるさまざまな課題に継続的に取り組んできた団体や個人を顕彰するもの。（第一生命保険株式会社ホームページより）

<https://www.dai-ichi-life.co.jp/dsr/society/challenges/hoken02.html>



(*1) 第73回保健文化賞の受賞者 https://www.mhlw.go.jp/stf/houdou/0000175593_00018.html



当法人は、2004年から実施してきた、子どもが欲しいと願う人々への当事者団体としてのさまざまな活動が認められ、今回の受賞に至りました。贈呈式では、「不妊当事者のさまざまな負担を軽減するために、不妊がより正しく社会全体に理解され、不妊にかかわるすべてのことが、ごくありふれた普通のこととなるよう社会を変える活動に長年にわたり貢献している」という業績の紹介でした。

20日(月)は、第73回保健文化賞の受賞者(9団体、5個人)を代表し、当法人の理事長・松本亜樹子が代表者挨拶をさせていただきました。その後、同席の受賞者の皆さまから「感動しました」「涙が出る思いでした」「ジーンとしました」などのご感想をいただきました。

翌21日(火)には、受賞者一同で皇居に参内し、天皇皇后両陛下に拝謁しました。宮殿の南溜の波の間にて、受賞者一同、天皇陛下から受賞のご祝辞を賜り、その後、何組かの受賞者には直接お声がけを賜りました。当法人の松本も天皇皇后両陛下から直接、活動についてのご質問や労い、励ましのお言葉を賜るこの上ない機会に恵まれました。

日本で不妊を心配したことがあるカップルは3組に1組、実際に不妊の検査や治療を受けたことがある(または現在受けている)カップルは5.5組に1組といわれています(*2)。日本で体外受精や顕微授精などの生殖補助医療(ART)によって生まれた子どもは、2019年は60,598人(*3)を数え、その年の出生児全体の約14.3人に1人がARTにより誕生したことになります(*4)。

当法人はこれからも不妊・不育で悩む人が社会から孤立することなく、健全な精神を持ち続けられるように心と身体のサポートや環境改善など、当事者支援にさらに励み、精進してまいります。

(*2) 国立社会保障人口問題研究所「第15回出生動向基本調査」(2015年6月)

http://www.ipss.go.jp/ps-doukou/j/doukou15/NFS15_report4.pdf

(*3) 生殖補助医療による出生児数(2019年累計出生児数)は『日本産科婦人科学会雑誌第73巻第9号』より引用。

<http://fa.kyorin.co.jp/jsog/readPDF.php?file=73/9/073091089.pdf>

(*4) 2019年(令和元年)の出生数は、「人口動態統計」(厚生労働省)による。

<https://www.mhlw.go.jp/toukei/saikin/hw/jinkou/kakutei19/index.html>

■NPO 法人 Fine これまでの受賞歴

- ・平成28年度東京都女性活躍推進大賞 優秀賞
- ・内閣府男女共同参画局 平成30年度女性のチャレンジ支援賞
- ・公益財団法人社会貢献支援財団 第55回社会貢献者表彰(日本財団賞)
- ・公益財団法人賀川事業団雲柱社 2020年度 第5回「賀川豊彦賞」(奨励賞)
- ・社会福祉法人 読売光と愛の事業団 第18回 読売福祉文化賞
- ・公益社団法人日本パブリックリレーションズ協会 PRアワードグランプリ 2021 シルバー

■NPO 法人 Fine へご支援・ご寄付のお願い

不妊・不育をとりまく環境の向上には、多くの方々の正しい理解や支援が不可欠です。そのために幅広い方々からご協力をいただき、連携することこそが、日本の不妊・不育(治療)の現状を変えていく一歩につながります。ぜひFineへのご支援・ご協力をお願いいたします。

- 正会員/賛助会員(個人・企業・団体) <https://j-fine.jp/members/index.html>
- PASサポーター(医療機関・企業) <https://j-fine.jp/support/message02.html>
- ご寄付 <https://j-fine.jp/support/kifu.html>

~Fine会員は約2,600名(2021年12月現在)~

NPO 法人 Fine(ファイン) <https://j-fine.jp/>

〒135-0042 東京都江東区木場6-11-5-201 TEL 03-5665-1605 FAX 03-5665-1606

*常駐ではありませんので、できるだけメールにてお問い合わせいただければ幸いです

E-mail◆NPO 法人 Fine 広報窓口: finekouhou@j-fine.jp